

**「保健医療科学」
第67巻 第4号 予告**

特集：保健師の専門性—ジェネラリストというスペシャリティー—（仮題）

公衆衛生看護におけるジェネラリストの概念（仮題）……………	丸谷美紀
公衆衛生看護管理に求められるジェネラルな能力（仮題）……………	加藤典子
分野横断的・包括的ケアシステム構築のために保健師に期待すること（仮題）……………	真山達志
個別援助における分野横断的支援（仮題）……………	吉岡京子
集団への援助における分野横断—住民健康管理における分野横断的・総合的視点—（仮題）……………	永吉真子
地域づくりにおける分野横断—協働の地域づくりに求められるジェネラルな能力—（仮題）……………	川崎千恵
地域ケアシステム構築における分野横断的支援（仮題）……………	成木弘子
健康危機管理時の保健師活動における分野横断：自然災害時に保健師に求められるジェネラルな能力（仮題）……………	奥田博子
ジェネラリストとしての活動報告（仮題）……………	崎村詩織

編 集 後 記

リスクは、確率的な要素を含む概念で、「リスクがある」、ということは「危険な可能性がある」ことを意味するが、「危険がある」と短縮して解釈されがちである。重要なのはその可能性がどのくらいの大きさかという点で、その量が政策決定等様々な場面で必要となる。もちろん、リスクの量を評価するにあたっては、様々な仮定がおかれ、多くの曖昧さを含むため論争の元ともなるが、それでも全くわからないよりはましとある意味開き直って（当然科学としてのたゆまぬ改善が続けられていることが前提であるが）、計算して出てきた値と上手につきあうことが肝要であろう。国立保健医療科学院における様々な研修でもリスク評価を取り扱っているが、評価の実務とともにこのような基本的な考え方を伝えるように努めている。

今回の特集では、環境リスクを取り上げ、関連分野の第一人者の先生方より様々な角度からこの多様な広がりをもつ分野の過去現在未来に亘る諸課題について解説いただいた。この特集が読者の皆様にとって環境リスクに関する理解や議論が深まるきっかけになれば幸いである。

（生活環境研究部 越後信哉）